

連隊長要望事項
「情熱と執念」



「令和7年度山形県・酒田市総合防災訓練」に参加



倒壊した地域の瓦礫撤去作業を行う村上士長



負傷者の搬送



救急隊へ負傷者の引継ぎ

防災関係機関との

連携を強化



統監へ装備品説明



合同調整所において被害状況を説明する第2中隊長



現地の情報を掌握する古川3曹

9月7日(日)、光ヶ丘陸上競技場及び周辺地域において「令和7年度山形県・酒田市合同総合防災訓練」が行われ、第2中隊、中隊長石井一尉以下14名が合同調整所設置訓練、救助訓練及び装備品の展示を実施した。

訓練は「酒田市の西方沖30kmの海底を震源とするマグニチュード7.8と推定される地震により、庄内地域において震度6強の揺れを観測するとともに津波が到達し、大きな被害が発生した。」との想定で行われ、警察や消防、自主防災組織など計58の関係機関よりおよそ600名が参加した。

第2中隊は、ドローンにより被害状況を確認するとともに、合同調整所に映像伝送を実施し、同調整所に所在する中隊長により、各関係機関との情報共有を図った。その後、獲得した情報に基づき警察・消防等と連携して、津波に流された建物から要救助者3名を救出した。この際、迅速確実な救助要領について各関係機関との認識統一を図った。

連隊は今後も県内各自治体の防災訓練に積極的に参加し、災害発生時における対処能力を向上させるとともに、自治体及び各関係機関との連携強化を図っていく。



交戦する隊員(軽火器区隊)



3.5km夜間行進



陣地攻撃(迫撃砲区隊)



陣地攻撃(迫撃砲区隊)

訓練の総仕上げ



帰還式

新隊員後期教育訓練評価・総合訓練を実施

新隊員教育隊(教育隊長 下山准尉)が実施する一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程は教育も終盤となり、新隊員たちは、普通科隊員として必要な資質を養うとともに、各職種の基礎的な知識・技能を修得すべく、日々の訓練に励んでいる。

17日(水)に訓練評価、18日(木)の夕方から19日(金)昼頃にかけて35km夜間行進を実施した。

徒歩行進に引き続き戦闘訓練において新隊員たちは、これまで修得してきたほふくや射撃動作を駆使し、大粒の汗を流しながら、意気軒昂に訓練に臨み、全員が残暑に負けることなく目標を奪取し、任務を完遂した。その後、新隊員は駐屯地において連隊隊員の出迎えを受け、副連隊長に帰還報告を行い、普通科隊員としての決意を新たにしている。



陣地攻撃(軽火器区隊)



帰還報告

令和7年度連隊No.1分隊競技会及び武装走記録会を実施



選手宣誓 第3中隊 伊藤3曹



訓示を述べる統裁官



激走する連隊長 (右) 庶務幹部 (左)



優勝を目指す隊員たち



分隊戦闘射撃



第一線救護



射撃要求



手りゅう弾投擲

武装走記録会

【30歳未満の部】

- 第1位 本部管理中隊 3等陸曹 畠山峻介 (20分26秒17)
- 第2位 本部管理中隊 2等陸曹 難波一伸 (20分37秒48)
- 第3位 第3中隊 3等陸曹 松田亨成 (20分49秒52)

【40歳未満の部】

- 第1位 第4中隊 1等陸尉 谷口義幸 (22分04秒62)
- 第2位 第1中隊 2等陸曹 佐藤賢人 (23分51秒37)
- 第3位 第3中隊 2等陸曹 黒川永淳 (23分14秒05)

【50歳未満の部】

- 第1位 重迫撃砲中隊 陸曹長 鈴木明人 (19分37秒07)
- 第2位 第1中隊 2等陸曹 清水貴徳 (19分43秒56)
- 第3位 本部管理中隊 2等陸曹 福島慎治 (21分07秒69)

【50歳以上の部】

- 第1位 重迫撃砲中隊 3等陸尉 大山雄二 (23分03秒77)
- 第2位 第1中隊 1等陸曹 浦川 裕 (23分40秒29)
- 第3位 本部管理中隊 陸曹長 梅村昌和 (24分08秒97)

【女性の部】

- 第1位 重迫撃砲中隊 陸士長 金子友莉 (27分49秒33)
- 第2位 第1中隊 陸士長 久保田里穂 (29分09秒20)
- 第3位 本部管理中隊 陸士長 有路母華 (29分53秒56)

No.1分隊競技会

【総合優勝】

- 本部管理中隊

【分隊の部】

- 第1位 本部管理中隊 施設作業小隊 (28分09秒42)
- 原田2曹 五十嵐3曹 辻3曹 佐々木士長 池田士長
- 第2位 第4中隊 迫撃砲小隊 (28分20秒87)
- 第3位 第1中隊 迫撃砲小隊 (28分53秒69)

成績紹介

小隊の部で優勝した施設作業小隊の5名

右から池田士長 辻3曹 原田2曹 五十嵐3曹 佐々木士長



重量物運搬

9月25日(木)駐屯地及び西訓練場において「令和7年度連隊No.1分隊競技会及び武装走記録会」を実施した。本競技会は各分隊の任務遂行能力の向上を図るとともに、建制を保持した分隊の士気の高揚・団結の強化を目的とし、併せて競技選手以外の隊員を対象に武装走記録会を実施して、武装走能力を向上させた。No.1分隊競技会は、各中隊が選考した代表分隊(本部管理中隊及び各普通科中隊4コ分隊、重迫撃砲中隊3コ分隊)計23コ分隊が参加、武装した5名の分隊が約4.6kmのコースを疾走し、任務遂行に直結する分隊戦闘射撃・第一線救護・射撃要求・手りゅう弾投擲・重量物運搬の各課目によりタイムを競った。

「大高根青年修養道場記念碑建立 55周年記念祭」に協力



献花の様子



高木酒造代表取締役十五代当主 高木辰五郎氏



歴史と経緯を語る木村莞爾氏



記念撮影



大高根青年修養道場記念碑

県立自治講習所長 加藤完治氏が実践的な教育の場として生徒とともに、かつて陸軍の軍馬放牧地であった大高根農場の開墾に着手したのは大正9年9月9日。同氏をはじめとする先人の活動を伝承するとともに開拓団等に参加し、旧満洲において亡くなった多くの方々の霊を慰めようと農場跡地である大高根演習場の一角に、昭和45年9月9日、村山市の高木酒造株式会社14代高木辰五郎会長が中心となり建立したものである。

大高根青年修養道場とは？

9月11日(木)、大高根演習場(村山市)において、「大高根青年修養道場記念碑建立55周年記念祭」に協力した。

記念祭当日は、主催者 高木酒造株式会社代表取締役社長 高木辰五郎様、山形県知事代理村山総合支庁長 岡崎正彦様、村山市長 志布隆夫様、駐屯地司令、業務隊長、連隊からは連隊長、幕僚及び各中隊長が参列した。

記念碑への献花の後、元県議会議員 木村莞爾様よりご挨拶があり、大高根青年修養道場にまつわる経緯等を拝聴し、改めて55周年をお祝いするとともに大高根演習場の歴史と伝統を認識した。

小国町役場 「隊内生活体験」に支援



着隊式



基本教練



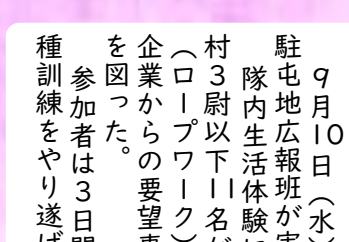
結索法(ロープワーク)



心肺蘇生法



災害対応要領の説明



資料館見学



記念撮影

9月10日(水)から12日(金)までの間、神町駐屯地において駐屯地広報班が実施する「隊内生活体験」を支援した。隊内生活体験には小国町役場職員5名が参加し、第4中隊 竹村3尉以下11名が担当し、起居容儀をはじめ、基本教練、結索法(ロープワーク)、野外衛生及び災害対応要領の説明等を通じ、企業からの要望事項である規律、団体行動における協調性の涵養を図った。

参加者は3日間の隊内生活体験を終え、規則正しい生活及び各種訓練をやり遂げ、充実感に満ちた様子で駐屯地をあとにした。

「総合的な学習の時間」における職場体験を支援



目標の発見・識別



人命救助セットの説明



体験搭乗



装備品を見学する生徒

	月日(曜)	学校名・人員数	実施項目	担当中隊
1	9月3日(水)	陵東中15名 沖郷中1名	○体験搭乗 ○歩測 ○救急法	本部管理中隊 第1中隊 第2中隊
2	9月10日(水)	陵西中6名 陵南中20名	○体験搭乗 ○目標の発見・識別 ○歩測	第4中隊
3	9月12日(金)	陵南中20名 鳥海八幡中8名	○体力検定 ○歩測	重迫撃砲中隊



体力検定



記念撮影

9月3日(水)から9月12日(金)までの間、神町駐屯地において自衛隊山形地方協力本部が実施する「総合的な学習の時間」における職場体験を支援した。

職場体験には各中学生(別表)が参加し、連隊は装備品展示・体験搭乗(高機動車)、各課目(歩測・目標の発見識別訓練・救急法・体力検定)を実施した。

当初は緊張した様子だった生徒たちも、課目を担当した隊員とも打ち解け、楽しみなから課目に取り組んでいた。

「第36回日本一の芋煮会フェスティバル」広報展支援



三代目鍋太郎の様子

高機動車を見学する方々

激励に訪れた連隊長と最先任上級曹長

写真撮影に快く応じる隊員

来場者と会話を楽しむ隊員

連隊長と記念撮影

9月14日(日)、山形市馬見ヶ崎川河川敷で開催された「第37回日本一の芋煮会フェスティバル」において、山形地方協力本部が実施した広報展に支援した。

日本一の芋煮会フェスティバルは、今回で第37回目を数え、県産里芋3.2t、山形牛1.2t、長ネギ358本、こんにやく4千枚を使用し、直径6.5メートルの大鍋(通称 三代目鍋太郎)や重機を使用して、約3万食の芋煮を振舞うものであり、全国各地から多くの来場客が訪れた。

県内各地PCO広報展に支援



自衛隊ブースで記念撮影(赤湯温泉ふるさと祭り)

9月3日(水)から9月20日(土)までの間、県内各地で実施されたイベント及び自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ支援(別表)し、いずれも多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。支援した隊員たちは、寄せられた質問に対し澁刺と受け答えを行うなど、来場者との交流により、自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の発信を図ることができた。

実施日	イベント名	支援人員	支援内容
8月23日(土) 8月24日(日)	むらやま徳内まつり	本部管理中隊3名	中距離多目的誘導弾・オートバイ
8月30日(土)	米沢イオン店自衛隊広報展	第4中隊2名	高機動車
9月13日(土)	まちのおしごと体験イオンモール山形南	第2中隊3名	軽装甲機動車・オートバイ
9月13日(土) 9月14日(日)	ふながた若船まつり	第1中隊3名	1/2tトラック・ホトレラー
9月14日(日)	赤湯温泉ふるさと祭り	第4中隊2名	軽装甲機動車
9月20日(土)	子どもの命の守り方笑顔を守る「火災予防」	本部管理中隊2名	1 1/2 t 救急車

行事予定 10月

- 11日(土) ・尾花沢もっとうるだしみらいまつり
- 12日(日) ・けやきの森のおまつり(上山市)
- 18日(土) ・かわにし産業フェア
- 25日(土) ・公立置賜病院はたらくるま
- 24日(金)~26日(日) ・山形大学八峰祭
- 26日(日) ・上郷フェスティバル(米沢市)

各種表彰

【国内射撃競技会 師団実弾選考部隊射撃】

第2中隊 (14チーム中 第1位)

- 菅原 良友
- 小池 良太
- 大地 隼
- 二瓶 健将
- 松木 勇
- 青木 悠
- 山口 雅
- 山野 風
- 押野 侑真
- 八重樫 和磨

※師団代表に指定

【第52回東北総合スポーツ大会】

第2中隊 (団体戦 青年の部 第3位)

- 大場 義恭
- 佐藤 翔
- 結城 翔一郎
- 重迫撃砲中隊
- 第2中隊 (壮年の部 優勝)
- 伊藤 裕慎
- 第1中隊 第2位
- 塚原 翔太
- 第1中隊

退官者の紹介

長い間の御勤務お疲れ様でした。



第4中隊 高橋曹長